

私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

事業所名	生活リハビリセンター雅			第三者評価受審年度	元年度
項目	評価結果に基づく現状分析 (元 年度)	改善計画 (元 年度末時点)	実施状況 (元 年度末時点)	実施状況 年度末時点)	
リーダー層間の意思疎通、職員間の情報共有力を高めている件について	現場内での課題等については施設長会議の中で共有化を図り、各種会議にて職員同士の意見交換を行っている。	事業所内においても毎月職員会議を定例化させ、職員間の意見交換の場を増やし、意思疎通を図る。	現在、職員同士の意見交換も活発に行われており、意思疎通、情報共有を取り組んでいる。		
利用者の活動の充実及び新プログラムの導入に向け一丸となり取り組んでいる件について	利用者の状態に合わせたリハビリーションを専門職と連携して行っている。事業所の特色としているミュージックセラピーは、概ね利用者の好評を得ている。	訓練の成果を職員と共有が図れるよう専門職を交えての個別訓練評価会議を継続・実施し、散策プログラムによって利用者の外出機会の向上を目指していく。	現在、外出機会の向上、自立支援の更なる充実化に向け、散策プログラムの構築に取り組んでいる。		
災害や深刻な事故等遭遇した場合に備えた対策を行っていく件について	災害時マニュアルの整備、年2回の避難訓練を定期的に実施しており、利用者の安心感に繋がっている。	災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備えての事業継続計画の整備や送迎の対応、連絡手段などを明確にできるよう取り組んでいく。	現在、様々な災害を想定した訓練を計画中である。また災害備蓄品について必要数確保できているかの確認を行っている。		

※この様式は、「小平市障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価の結果は、施設において公表しています。